

ひょうご北摂☆ 食・動・楽・街

「食・動・楽・街」を切り口に魅力を掘り下げ、
ローカル情報媒体と連携して
地域の魅力を発信する

昨年度の活動

20歳台から90歳台まで、幅広い年齢層の委員10名がテーマを出し合い、4市1町の魅力深掘り探索を計画しました。初年度は、三田市のしいたけを西日本最大級の観光農園で深掘り、宝塚市(西谷)では里山再生～西谷の森公園～丸山湿原～上佐曾利ダリア園を探索しました。

委員間の情報共有可能手段(メール・LINE・電話・FAX・郵送)のバラツキをなかなか克服できず、新型コロナ感染が拡大し始めてからは、グループ活動の難しさを一層痛感する一年となりました。

猪名川町・大野山展望台からの眺望

今年度の活動

新型コロナ感染拡大で年度始めから出鼻をくじかれ、グループ活動では対面の打合せ、リアルでの現地探索ともに大きな制約を受けるなど、スタートから大きく出遅れてしまいました。その中で、宝塚市(売布)・伊丹市・川西市・猪名川町を舞台に、要所では地元ボランティアや専門家のお力も借りながら、4つのテーマでグループ活動を実施しました。

私たちの住いの身近な場所に、未だ見ぬ魅力を発見でき、「ひょうご北摂」の「食・動・楽・街」を切り口とした活動報告にまとめていきました。情報媒体との連携と発信は手探りのままに終わり、次への課題となりました。

実践活動 売布神社から浪漫旅 ～天女の羽衣を求めて～

宮司の由緒情報、資料文献から売布の浪漫を語る試みです。布を売っていた史実は不明ですが、呉から衣を届けた織姫伝説につながる伝承には、当地の歴史の深さを感じます。兵庫県は古墳数1位、遺跡数2位ですので、未だ見ぬ歴史を紐解く今後の研究にも期待が膨らみます。



川端道春 著(川瀬書店)

売布神社

「宝塚の風土記」では、天照大御神の食事を司る伊勢神宮外宮の豊受大神を祀ると、売布神社が発祥の地とされています。売布の名前は「海藻生」「襦布」等、諸説多いとのこと。布帛については「天女羽衣伝説」など、西国街道・海ルートで、呉から港のある西宮・松原神社、池田の呉羽、京都へとつながっています。七福神巡りは阪急路線・開発の小林一三氏による影響が大きいそうです。

実践活動 日本遺産・伊丹郷町を深掘り

『伊丹諸白』と『灘の生一本』を生んだ銘醸地・伊丹に、酒好きの委員が史跡の謎にも惹き寄せられて。



有岡城(伊丹城)跡

白雪ブルワリー・ビレッジ長寿蔵ミュージアム

伊丹市文化財ボランティアの会の池田さんのご案内で、有岡城(伊丹城)跡～郷町長屋・みやのまえ文化の郷～白雪長寿蔵～老松丹水～三軒寺前広場まで『伊丹諸白』と『灘の生一本』を生んだ銘醸地を巡った後、昆虫池公園～昆虫館まで足を延ばし、チョウの乱舞を童心に帰って楽しみました。

池田さん手作りの歴史解説絵巻は、有岡城や荒木村重を深く面白く知ることができ感激しました。

実践活動

川西市・猪名川渓谷に、日常の散策道「多田まぢみち溪流」の価値を、新たに見出し育てる

住宅地に隣接する日常生活圏にありながら、水と緑の自然豊かな溪流美を楽しめる猪名川渓谷。現況は、残念ながら歩くのも危ない車の抜け道ですが、複数の大規模住宅地に隣接し、毎日の散歩にも利用できる稀有な溪流散策道(仮称)「多田まぢみち溪流」としての価値を新たに見出すことで、「川西市健幸まちづくり」のカラーコンテンツに育て上げたいと思います。



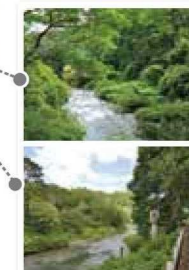
猪名川水生生物研究の第一人者・牛尾先生の指導で環境調査。

エドヒガン桜の群生と大規模住宅地を望む。

溪流の価値と向き合い
深掘りする第一歩となりました。



創設から約70年、教会の歴史、涵養活動を伺う。



溪流沿いの道。川の流れと木々の緑が心地よい。

実践活動

冬の猪名川町の魅力を深掘り

鉄道は終点一駅のみ、高速ICも無く、南北に奥深い町は、不思議と町民の創意工夫が芽吹く街。そこには、奥深い歴史や魅力があった…。



恋人の聖地 TwoRings

八坂神社

素戔嗚(すさのお)神社 狛犬

猪名川町観光ボランティア・岡本さんのご案内で、大野山(おおよさん)展望台～柏原・八坂神社～ふるさと館～静思館(せいしかん)～素戔嗚(すさのお)神社を巡りました。「道の駅いなわ」で食した地産・新蕎麦も、殊の外美味し。大野山の360度の眺望は素晴らしく、価値の活かし方次第で、もっと人気スポットに進化できるのももったいないとの感想が多数。猪名川の地に多くの魅力を発見できた貴重な一日となりました。

ビジョン委員会 変革課題

「ひょうご北摂の将来像とその実現」を目指すも、「将来像」にどう繋げるのか?という課題は、その多くが未消化に終わっています。今後に向けた共創活動の課題と解決案を掲げてみました。

- ① 地域での活動共有・参加呼び掛け
ex. 次回サクラ咲く季節に一般参加含む開催検討
- ② 既存の地域活動との連携
ex. 地域活動団体「溪のサクラを守る会」等(県天然記念物:水明台エドヒガン桜)
ex. 竹中工務店・SDGs生物多様性保全活動(清和台の森)
ex. 「のせでんアートライン妙見の森」への参画(隔年開催・次回2023年)
- ③ 活動目標・完成イメージの見える化
ex. (仮称)「多田まぢみち溪流」の完成イメージ(ドローン空撮、写真・イラスト制作、デジタルツイン)
- ④ 情報発信の仕組み化
ex. 地域情報媒体(情報誌・WEB・SNS)との連携
ex. 情報発信者の育成講座、サポーター登録制度
ex. 観光協会(4市1町)との連携(『ひょうご北摂ツーリズムガイド』への記事提供)
- ⑤ 公的企画への段階的格上げ
ex. 北摂里山博物館「北摂里山魅力づくり応援事業」への応募 等
※ex. 記載例は、「多田まぢみち溪流」の場合の具体案です。

2年間を振り返って

ビジョン委員会という活動の場に参加させていただけたことに感謝しています。特にメンバーの方々色々な思いを語り合い、探索活動をできたことは意味のあることでした。一方で、ビジョンの在り方(メンバー募集時を含む)は、「将来像とその実現」という目標がトップダウン的に示されるも、グループ活動を「将来像」にどうつなげるのか?という課題は未消化で、自省を込めて、次年度以降のビジョン委員会活動の変革と進化の必要性を痛感しています。

「ビジョン・将来像の実現」の先に、コロナ禍を乗り越える創造と進化、希望に満ちた未来を期待します。